

中高連携推進事業のアンケート調査結果

身延・南部地域中高連携推進事業のアンケート調査結果の概要をお知らせします。
ご協力ありがとうございました。

調査時期 平成29年10月
回答者 身延高校1年生 身延中学校3年生 南部中学校3年生
身延・南部中学校保護者

【授業アシストについて尋ねた】

身延高校1年生：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答の割合

質問内容	(%)
数学の授業で分からないところを尋ねやすい	84.5
数学の授業が分かりやすい	77.6
数学の授業に向かう姿勢が前向きになった	93.1
英語の授業で分からないところを尋ねやすい	65.6
英語の授業が分かりやすい	60.4
英語の授業に向かう姿勢が前向きになった	86.2

身延・南部中学校3年生：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答の割合

質問内容	(%)
数学の授業で分からないところを尋ねやすい	83.0
数学の授業が分かりやすい	80.7
数学の授業に向かう姿勢が前向きになった	84.7
数学の授業の内容がよくわかる	83.0
数学ができるようになりたい	99.2
数学の勉強が好き	66.2

【地域との協働について尋ねた】

身延・南部中学校3年生：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答の割合

質問内容	(%)
今住んでいる地域の行事に参加している	91.2
地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある	79.9
地域社会活動でボランティアに参加したことがある	80.6

【保護者に尋ねた】

質問内容	身延中 (%)	南部中 (%)
連携事業を実施していることを知っている	89.5	92.2
連携事業の目標を知っている	37.5	34.4
アシスト授業の機会を設けることはよい	82.2	89.1
サマーセミナーの機会を設けることはよい	86.2	89.8
中高連携に期待する事業（身延・南部とも同じ）		
1位 高校教員による中学校授業アシスト	75.0	77.3
2位 サマーセミナー	58.6	52.3
3位 合同部活動	43.4	44.5

紙面の都合からアンケート結果概要とさせていただきます。

保護者から寄せられた貴重なご意見、ご要望は中高連携推進検討委員会で協議し、今後に生かしていきます。

これからの連携行事

総合学科発表会（2月10日（土）10時：身延総合文化会館）

身延高校のキャリア教育の成果発表会です。1年で「夢の発見」、2年で「夢の育み」、3年で「夢の実現」をテーマに掲げ、1年間の学習成果を生徒が発表します。中学生は、未来の自分をイメージしながら観てください。高校3年間の成長がイメージできます。1月に案内状を各中学校に配付します。



◆サマーセミナー



◆防災サマーキャンプ



◆ライフミュージアム



◆合同清掃活動



身延・南部地区中高連携事業

中高連携通信

南部中学校 / 身延中学校 / 身延高校

中学校・高校・地域。
新しい視点で教育を捉える！
身延・南部から
日本へ発信！



新しい視点から

次の世代を育てる！

連携の教育理念・教育目標

◎教育理念

6年間を通して確かな学力と豊かな人間性を育み、地域と協働して『キャリア教育』を進め、次代を担う人材を育成する。

○教育目標

学力の向上
計画的・継続的な教育を展開し、自主的・創造的な学習態度を育成する。

豊かな人間性の育成
豊かな心を育み、社会性やコミュニケーション能力の伸長を図る。

地域との協働
地域への理解を深め、主体的に地域社会の形成に参画する態度を養う。



身延高校キャラクター
ツッポちゃん

平成29年12月
身延・南部地域中高連携推進検討委員会
発行：身延高等学校

<http://www.minobu.kai.ed.jp>

平成29年度 中高連携事業 実践報告



身延中学校



南部中学校



身延高等学校

これまで実践してきた中高連携事業について、概要及び成果を報告します。

授業アシスト

「学習意欲の向上」と「基礎学力の定着」のために高校の先生が中学校の授業にアシストに来てくれます。本年度は数学にしほり、身延中には望月先生、南部中には齊藤先生が中学生の数学の授業を各クラス週2時間アシストしています。



身延中学校

生徒に実施したアンケートの結果によると、「2人の先生で授業を行うので、分からないところを聞きやすい。」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒を合わせると83.0%にのびりました。さらに、「高校の先生がアシストに来ることで、数学の授業が以前より楽しくなった。」では71.8%、「数学の授業に向かう姿勢が前向きになった。」には84.7%の生徒が「当てはまる」「どちらか



南部中学校

らかとえば当てはまる」と回答しています。この「中学校への授業アシスト」は、4月から11月までは中学3年生を対象に実施し、12月から3月は中学2年生を対象に実施することになっています。南部中はすでに2年生で実施していますが、身延中では他の教科との関係もあり、1月から2年生を対象に実施する予定です。

防災サマーキャンプ

地域への理解を深め、地域社会の形成に主体的に係わる力を育てるために、各校の希望生徒が参加して、常葉大学社会環境学部准教授 小村隆史先生、常葉大学教務部 湯山和行先生にお越しいただき、「東海地震」に関する基礎学習とフィールドワークを中心にした防災マップ作りと防災に強い町づくりの提案を行いました。



ドマップを作成しました。この貴重な活動を通して、私はどんな事でも『知る』という大切さを学びました。私は自分の住んでいる南部町の危険箇所、ホース格納箱がどこにあるのか、はっきりとわかりません。しかし、緊急時に町の力になれるのは私たち中学生なので、積極的に地域活動やボランティアに参加し、少しでも町の事を知り、町の力になれたらよいと思っています。今回参加した中で、南部中の女子は私だけで不安もありましたが、身延高校の先輩方が優しく接してくれたため、気後れせずに活動でき、また、地域に住む先輩方と一緒に学べたことはとても意義あることだと思いました。(南部中学校 木内 天音さん)

この事業は「防災リーダー」の育成を目的に行っているのはもちろんですが、今年度は特にキャリア教育の視点から、コミュニケーション能力を高めることを意識して取り組みました。タウンウォッチングやハザードマップの作成時には高校生が主体となって作業を進める中でそれぞれが役割を分担するなど、積極的にコミュニケーションをとる姿が見られました。

《生徒の感想より》

私は先生に勧められ、中高連携防災サマーキャンプに参加させていただきました。AEDを使った救急救命法を体験したり、段ボールで簡易トイレを作ったり、避難所に関することを学びました。また、身延高校付近をグループで散策し、危険箇所を見つけ、ハザード



演劇指導

豊かな心を育み、社会性を身につけ、コミュニケーション能力を伸ばすために、中学校の学園祭で実施される演劇について、身延高校演劇部の顧問 鈴木先生に指導助言をいただき、より質の高い文化活動を目指しました。

学園祭の演劇には、それぞれの学年の先生方や生徒たちの想いがこもっています。その想いを、的確な表現方法で、より効果的に伝えるために何が大切なのか、鈴木先生から教えていただきました。



南部中学校

《生徒の感想より》

南部中学校では、学園祭で学年ごとに演劇をしています。今年、私たち2年生は、「さつき姫」という南部町に伝わる話を演じました。台本は本来はなく、小学校で使ったものを借りて、私たちに用アレンジしました。練習が始まりましたが、間の取り方や話し方、動き方など、とても難しく苦労しました。そんな時に、身延高校演劇部顧問の鈴木先生に演劇指導をしていただきました。わかりやすく、丁寧に演劇指導してくださり、とても勉強になりました。指導してもらえる時間があまりとれませんでした。前よりも演劇が良くなったと思います。学園祭当日は、教えていただいたことを生かしながら演技をして、成功させることができました。

これから、このような機会があれば指導していただきたいと思います。今回のように高校と関わる取り組みでは、たくさんのことが学べます。この取り組みで学んだ事を生かして学校生活を送っていきたいです。(南部中学校 小池 花奈さん)

身延中学校では、

今年、1・2年生は演劇とテーマに、中学校生活最後の学園祭となる私たち3年生は演劇とテーマとパフォーマンスのそれぞれの部門に分かれて活動をしました。



身延中学校

私たち3年生の演劇は「やっぱりパイ

ヤ」という、反抗期の娘とその父の葛藤を描いた作品です。私は父親役に挑戦しました。この役は、娘との会話の場面が多い役です。そのため、セリフのキャッチボール、挙動、発声など、練習するうちに様々な課題が出てきました。これらは、決して私だけでなく、全員に共通した課題でもありました。その課題の克服に、身延高校演劇部顧問の鈴木先生は大きな影響を与えてくれました。ミニゲームを行いながら、楽しい中で基礎を強化し、実際に演技を行い、私たちでは気づかない細かな点までアドバイスをいただきました。そのおかげで、本番では自信を持って、しかも楽しく演技をすることができました。ご指導して下さった鈴木先生にはとても感謝しています。私は来年度高校生になります。そのときは、身延高校の演劇部で、もっと大きな舞台に立ちたいと思っています。(身延中学校 深沢 凜玖さん)